

かこおいけ 加古大池

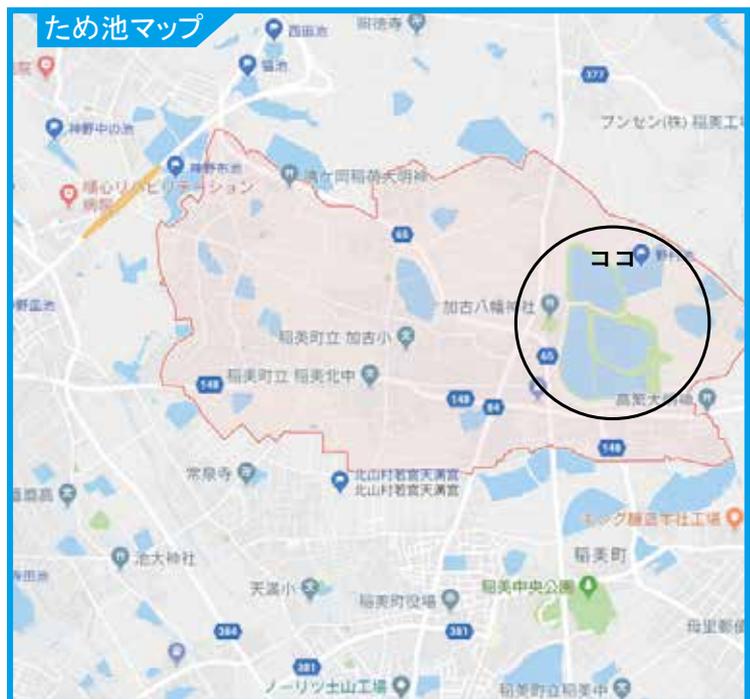
加古の池を愛する会

歳時記

I-7

ため池 訪問 ルール	駐車場	魚釣り	バーベキュー	ペット糞尿	たき火	生物放流	車両進入	その他
○			×	×	×	×	×	

稲美町



ため池データ			
所在地	加古郡稲美町加古 1678-1		
総貯水量	1,300,000 m ³		
貯水面積	494,000 m ²	受益面積	330 ha
管理者	加古土地改良区		
築造年	1660年		
改修年	1988～2000年		

ため池紹介

加古大池は、沼田家文書によると、西暦1661年（万治4年）に中西条村（現加古川市八幡町）の庄屋加古沢兵衛、沼田喜平次、本岡治兵衛の願い出により、この地区の新田開発の農業用ため池として築造されました。水源は、この地域と高低差が少ない草谷川であるため、当時の人々は苦勞して3キロメートルに及ぶ加古大溝と呼ばれる用水路を作り、池に水を溜めました。その後昭和24年に池の大改修が行われ、5つのため池が統合されて現在の形になりました。

◆歴史・文化等

加古大池は加古の新田開発の時に築造されたため池で、1660年に築造されたといわれています。

◆自然環境

加古大池の自然ゾーンの一部を水生植物園として整備しており、これらの水生植物を保護、保全を行っております。菖蒲・睡蓮などの観賞用植物ゾーンもあります。

加古大池で観察された野鳥は88種に上ります。

◆レクリエーション

加古大池の水面では、ウインドサーフィン。釣り等で楽しむことができます。

また、多目的グラウンドではグラウンドゴルフ等で楽しんでおられます。

周回道路ではジョギングやウォーキングを楽しんでおられる方もいらっしゃいます。



加古大池でスタンドアップパドル（SUP）を楽しみました



ボードは浮力や安定性が高く、初心者もすぐにバランスを取るコツがつかめます

ため池ごよみ



項目		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
農作業	水稻（キヌヒカ）			■									
	大麦	■							■				
水利・保全作業	溝掃除（普請）		●			●							
	堤体草刈		●		●				●	●			
	クリーンキャンペーン（草刈・清掃）				●	●				●		●	
	配水操作（ゲート、セキ板等）			■									
	かいぼり（池干し）												
イベント等	初日の出観賞会											●	
	弁財天例祭		●										
	花の植栽												
	花火大会					●							
主な動植物の見頃	スイレン			■									
	景色等の身頃（周辺も含めた眺め）												
その他	大雨前の事前放流												